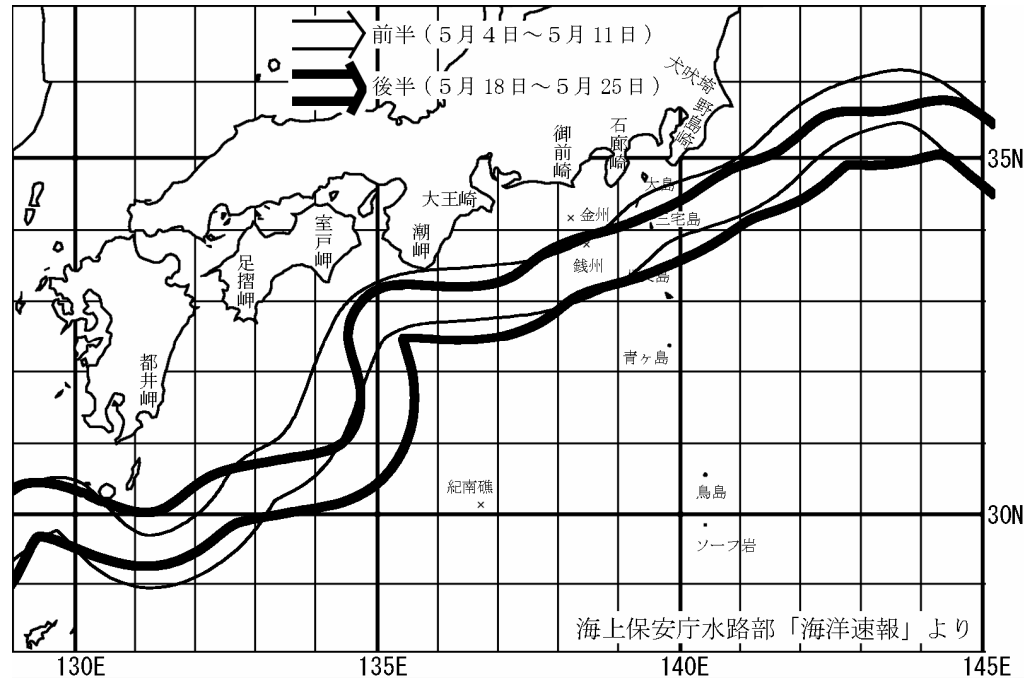


漁海況月報

平成 16 年 5 月 1 日

No. 5 ~5月31日

静岡県水産試験場
(電話 054 627 4815)
静岡県水産試験場伊豆分場
(電話 0558 22 0835)



【黒潮流路】

黒潮は、先月に引き続きN型で、遠州灘沖 33°20' ~ 34°00' Nを東進、御蔵島~三宅島を通り房総沖を北東に流れた。上旬から中旬は流路変動が極めて小さかったが、下旬に小さな蛇行が遠州灘沖から石廊崎沖にかけて東進した。この蛇行の峰は下旬後半に伊豆半島に接近し、駿河湾と相模湾には暖水が波及した。定地水温は、全ての測点で平年並から高めで推移した。

【県下沿岸域】

定地水温は、相模湾側では 16~19 台、駿河湾東部では 17~20 台、駿河湾西部では 17~21 台で経過した。県下の全ての測点で平年並~高めで推移した。

【竿釣近海カツオ】

5月の県内主要5港(沼津、清水、焼津、小川、御前崎)における近海カツオの水揚量は474トンで豊漁であった前年同期の33%であった。魚価は510円/kgで、前年同期を大きく上回った。遠州灘沖~伊豆諸島東沖で極小、小、中カツオを漁獲した。

竿釣近海カツオ水揚量 (県内主要5港)

期 間	水揚量 (トン)	水揚 隻数	水揚量/隻 (トン)	平均単価 (円/kg)
16年5月上旬	199	33	6.0	507
中旬	157	35	4.5	591
下旬	118	29	4.1	409
16年5月計	474	97	4.9	510
15年5月計	1,451	236	6.1	275
14年5月計	605	118	5.1	505

【定置網】

平成 16 年 5 月、伊豆半島東岸大型定置網 8 か統(伊豆山、古網、赤石、川奈、富戸、赤沢、北川、谷津)における水揚量は 846 トンであった。1 漁場当たり水揚量 106 トンは、前年 45.5 トンの 2.3 倍、平年値(昭和 57~平成 15 年平均値) 50.9 トンの 2.1 倍であった。

魚種別にみると、マアジ 397 トン(前年の 2.4 倍、平年の 2.4 倍) サバ類 320 トン(前年の 1.6 倍、平年の 4.3 倍) カタクチイワシ 25.4 トン(前年の 44%、平年の 82%) さばっこ 20.6 トン(前年の 5.8 倍、平年の 1.4 倍) マルソウダ 18.0 トン(前年の 8.6%、平年の 94%) の順に多かった。

マアジは川奈を中心に入網し、尾叉長の中心は 15~20cm であった。特に川奈では 5 月 4 日及び 9 日に約 20 トンまとまって水揚された。サバ類はゴマサバが北川及び谷津を中心に入網し、尾叉長のモードは 33~34cm であった。マサバは 5 月中旬を中心として近年になく特異的に(前年の 8.0 倍、平成 9~15 年平均値の 9.7 倍) 入網した。尾叉長の中心は 31~35cm で、特に北川では 5 月 18 日、見高では 5 月 16 日に約 10 トンまとまって水揚された。カタクチイワシは富戸を中心に入網し、被鱗体長の中心は 10.5~11.5cm であった。さばっこは川奈を中心に入網し、平成元年以降で最も多く、尾叉長の範囲は 10~17cm であった。マルソウダは川奈を中心に入網し、尾叉長の範囲は 33~37cm であった。

なお、5 月中旬以降は川奈を中心にアオリイカが多く入網し、8.9 トン(前年の 7.3 倍、平年の 4.3 倍) 水揚され、これは、昭和 57 年以降で最も多かった。

2004 年 5 月

定地水温の旬平均値()

(下段は偏差)

期 間	伊東	稲取	下田	雲見	沼津	焼津	地頭方
上 旬	17.0	17.2	17.4	19.2	19.1	18.3	17.5
	0.0	0.6	0.5	1.4	0.9	0.8	0.3
中 旬	18.5	18.1	18.1	19.7	20.4	19.3	19.5
	0.6	0.6	0.4	1.2	1.4	0.9	1.4
下 旬	19.0	19.3	19.6	20.4	20.9	20.5	19.7
	0.2	1.1	1.2	1.0	1.3	1.3	0.6
月平均	18.2	18.2	18.5	19.8	20.4	19.4	18.9
	0.3	0.8	0.8	1.2	1.4	1.0	0.8

漁場別水揚量は、マアジの漁獲が多かった川奈(222トン)、ゴマサバとマアジの漁獲が多かった北川(206トン)、マアジとゴマサバの漁獲が多かった富戸(146トン)の順であった。

[サバたもすくい棒受網]

小川港に水揚げされたサバ類は前月の水揚げ量(1,051トン)とほぼ同量の986トンで、マサバが16.7トン混じった。漁場は三宅から銭洲に形成された。棒受け網漁船によって水揚げされたゴマサバの大きさは27~29cm、マサバでは30~32cmのものが主体であった。1kg当たりの平均単価はゴマサバでは109円、マサバでは49円となった。

小川港 サバ類(たもすくい・棒受網漁業)水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	延隻数	1隻当り (トン)	漁 場
平成16年 上旬	152	3	10	15.2	高瀬、銭洲、三宅
5月 中旬	468	4	17	27.5	三宅、高瀬
下旬	366	5	19	19.2	三宅、高瀬
計	986	12	46	21.4	- - - - -
平成 15 年 5 月	829	11	56	14.8	三宅、三本、銭洲、高瀬
平成 14 年 5 月	1,076	17	102	10.5	三宅、三本、銭洲

[サクラエビ船曳網]

5月は10日間の操業で810トンの水揚げ量となり、昨年5月を上回った。水揚げされたサクラエビは、38mmにモードを持つ当歳エビと、43mmにモードを持つ1歳エビの2群で構成された。漁場は三保~沼津沖にかけて形成された。

サクラエビ水揚量

期 間	水揚量 (トン)	日数	1日1か統当り (kg)	漁 場
平成 16 年 5 月 上旬	186	2	平均 1,551	三保~田子の浦沖
中旬	221	3	平均 1,228	三保~田子の浦沖
下旬	403	5	平均 1,342	三保~沼津沖
平成 16 年 5 月 計	810	10	平均 1,350	-
平成 15 年 5 月 計	759	10	平均 1,266	三保~沼津沖
平成 14 年 5 月 計	592	7	平均 1,410	由比~富士川、戸田沖

[まき網]

小川港では、マイワシは12.1トン水揚げされ、平年同期(過去5か年平均:23.2トン)の52%と低調であった。カタクチイワシは99.5トン水揚げされ、平年同期(25.1トン)の397%と好調であった。

沼津港では、マイワシは45.0トン水揚げされ、平年同期(25.4トン)の177%と好調であった。カタクチイワシは水揚げされなかった。

静浦港では、マイワシは2.6トン水揚げされ、平年同期(11.4トン)の23%と低調であった。カタク

チイワシは241.1トン水揚げされ、平年同期(171.5トン)の141%と好調であった。

伊東港では、マイワシは1.6トン水揚げされ、平年同期(39.9トン)の4%と低調であった。カタクチイワシは515.9トン水揚げされた。

[シラス船曳網]

1日1か統当りの水揚量は、駿河湾で106kg、遠州灘で199kgだった。主要6港平均では173kgと前年同期(190kg)の91%、平年同期(過去5か年平均:334kg)の52%であった。5月の総水揚量は321.2トンと、前年同期(375.0トン)の86%、平年同期(937.4トン)の34%に当り、低調だった前年をさらに下回った。平均単価は752円/kgと平年同期(653円/kg)を上回った。

シラス水揚量(主要6港)

漁 港	水揚量 (トン)	日数	延統数	平均漁獲量 (kg/統/日)	平均単価 (円/kg)
新 居	18.7	13	165	113	804
舞 阪	138.9	14	664	209	784
福 田	94.1	14	368	256	581
御前崎	16.1	13	152	106	1,038
吉 田	32.9	14	351	94	993
静 岡	20.5	7	154	133	662
平成 16 年 5 月 計	321.2	-	1,854	(平均) 173	(平均) 752
平成 15 年 5 月 計	375.0	-	1,969	190	687
平成 14 年 5 月 計	1050.3	-	2,956	355	1,016

[調査船の動向]

富 士 丸

5月22日~ 東沖ピンナガ調査(10日間)

駿 河 丸

5月6~7日 駿河湾内にてマダイ仔魚 IKMT 調査(2日間)

5月11~13日 地先定線観測(駿河湾・遠州灘・伊豆)(3日間)

5月18~20日 駿河湾内にてマダイ仔魚 IKMT 調査及び静大深層水調査(3日間)

5月24~25日 駿河湾内にて名古屋大の地殻変動計調査(2日間)

5月26~27日 浜松沖にてトラフグ試験操業(2日間)